

主な出来事

【内政】

- 「行動の呼びかけ (Appel à agir)」運動の発足
- 上院通常会期の開催
- 憲法裁判所による声明発表
- 反政府民主主義連合 (CDO) の結成
- ボンゴ大統領のガボン帰国

【外政】

- ガボン政府, UAEとの4協定に署名

【経済】

- GSEZ社による外国人企業誘致及び雇用創出 (2018年)
- IMF, 「信用拡大メカニズム」の一環で得られた成果を評価
- アフリカフリーゾーン機構 (AFZO) 会合のリーブルビル開催

【内政】

1 「行動の呼びかけ (Appel à agir)」運動の発足

2月28日, 10名の野党関係者及び市民社会関係者で構成される「行動の呼びかけ (Appel à agir)」運動がガボンの危機的状況を脱するために発足した。同運動は, 憲法裁判所による憲法第13条の改正及びボンゴ大統領の入院以降のンボランツォ憲法裁判所長官によるガボン政治への不当な介入過多等を批判している。(1日付GMT)

2 上院通常会期の開催

1日, 上院の通常会期が開催された。ミレブ・オブッソン上院議長は, 2月26日にンコゲ・ベカレ首相が国民議会において行った施政方針演説のコミットメントを同首相が遵守するよう求めた。(2日付UN)

3 リーブルビル市長及びオウエンド市長の就任

11日, リーブルビル市長及びオウエンド市長が就任した。ンズエ (Leandre Nzue) リーブルビル市長は, 不衛生, 騒音等の問題に決意をもって対処していく旨約束した。(12日付UN)

4 ザカリ・ミボト国民連合 (UN) 代表, 「大統領不在」の認定を国民に求める

ザカリ・ミボト国民連合 (UN) 代表は, 全てのガボン人に対して「大統領不在」の認定を求めた。(12日付GMT)

5 41の野党で構成されるプラットフォーム (PG41) による「大統領不在 (退陣)」の主張

9日, PG41は現在のガボンの社会政治的, 経済的状況について発言するとともに,

ガボン政府に対し、対話及び「大統領不在（退陣）」の宣言を求めた。（12日付GMT）

6 憲法裁判所による声明発表

13日、憲法裁判所は昨年10月から続く大統領の国外療養に関連して同裁判所が反大統領派らから批判を受けていることを受け、声明を発表した。（14日付UN）

7 反政府民主主義連合（CDO）の結成

13日、野党6党がズバ・ンダマ（Guy Nzouba Ndama）氏を中核とし、民主的な政権交代を実現するために、CDOを結成した。19日、14の政党がCDO憲章に署名した。（14日付GA、20日付UN）

8 国民議会常設委員メンバーの選出

19日、国民議会は、各常設委員メンバーを選出した。与党ガボン民主党（PDG）が、全36ポスト中、32ポストを占めた。（20日付UN）

9 ボンゴ大統領のガボン帰国

23日、ボンゴ大統領が滞在先のモロッコからガボンに帰国した。政府関係者、若者、女性、様々な機関の代表者、PDG党员、一部の野党関係者、ガボン在住の外国人が、リーブリビル国際空港に出向いた。ボンゴ大統領は、「私は、このような温かい歓待を嬉しく思う。これは、私を深く感動させる歓待である」と発言し、群衆に応えた。（25日付UN）

10 ガボン政府要人によるボンゴ大統領表敬

26日、ボンゴ大統領は大統領府において、ベカレ首相、ミレブ・オブッソン上院議長、ブクビ国民議会議長、ンボランツォ憲法裁判所長官らの表敬を受けた。（27日付UN）

【外政】

1 ガボン政府、UAEとの4協定に署名

2日、カンボゴ外務・国際協力・地域統合・仏語圏・在外ガボン人大臣はアブダビで開催された第46回イスラム協力機構外相会合に参加し、二重課税回避等協定、投資促進・保護協定、政策協議及び合同協力委員会に関する覚書に署名した。（5日付UN）

2 カンボゴ外相とフランス海外選挙区選出議員との会談

15日、カンボゴ外相は、アメリア・ラクラフィ（Amelia Lakrafi）フランス海外選挙区選出議員と会談した。両者は、フランス・ガボン間の友好関係の推進及び強化で一致するとともに、直接投資及び貿易関係を強調した両国間の経済関係の推進について意見交換を行った。（18日付GI）

【経済】

1 GSEZ社による外国人企業誘致及び雇用創出（2018年）

2018年、GSEZ社は外国企業34社を誘致し、その内、13社は生産を開始した。また、同年、ンコク経済特区は144社を有し、同年に1,450名（同特区創設以降では4,600名）の雇用を創出した。（1日付GMT）

2 ガボン政府債務残高が約1年で1兆3千億円以上増加

2017年10月に4兆1104億セーファと見積もられたガボン政府の債務残高は、今日現在、5兆3千億セーファと見積もられた。(3日付GMT)

3 IMF、「信用拡大メカニズム」の一環で得られた成果を評価

IMFは、「信用拡大メカニズム」の第3回レビューの報告書において、同メカニズムの枠組におけるガボンの成果を評価した。また、IMFは、昨年10月の国民議会選挙にも関わらず、同メカニズムのプログラムの順調な実施を維持するために、ガボン政府が重要かつ困難な措置を取ったと付け加えた。他方、同報告書によると、ガボンは昨年6月末までの4つの定量的指標の内、2つしか達成できなかった由。(4日付・8日付GMT)

4 アフリカ開発銀行による15のプロジェクトへの総額5,360億セーファ供与

19日、アフリカ開発銀行は、ガバナンス、農業、水・衛生、社会問題及び交通に関する15のプロジェクトに対する総額5,360億セーファの供与を発表した。同金額は、ガバナンスに57%、農業に14%、水・衛生に14%、社会問題に10%、交通に5%ずつ割り当てられる。(19日GA・19日付GI)

5 第14回中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)首脳会合へのンコゲ・ベカレ首相の出席

24日、ンコゲ・ベカレ首相は、チャドのンジャメナで行われた第14回CEMAC首脳会合にボンゴ大統領の代理として出席した。(25日付UN)

6 アフリカフリーゾーン機構会合のリーブルビル開催

27日、アフリカフリーゾーン機構(Organisation africaine des zones franches: AFZO)加盟30ヶ国からの数十名の専門家がリーブルビルに集まり、経済成長及びアフリカの持続的発展へのフリーゾーンの貢献等に関して協議を行った。(27日付GA)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP紙),EN(エコール紙),GMT(ガボンメディアタイム),GI(ガボンインフォズ)